



株主の皆さまへ

第154期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

 住友大阪セメント株式会社

証券コード：5232

CONTENTS

株主・投資家の皆さまへ	1
事業別概況	3
連結財務諸表	5
特集	7
TOPICS	8
会社概要	9
株式の状況	10

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第154期上半期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

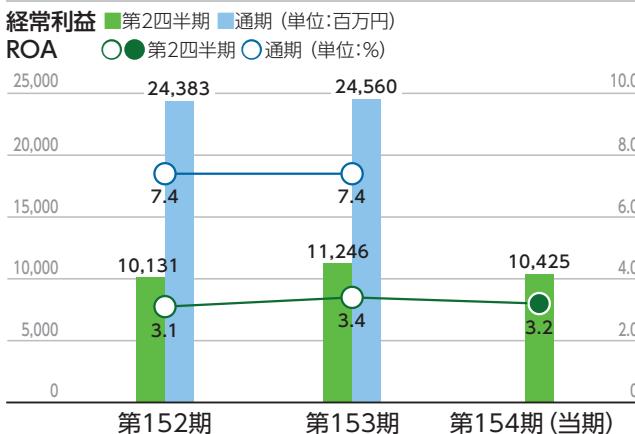
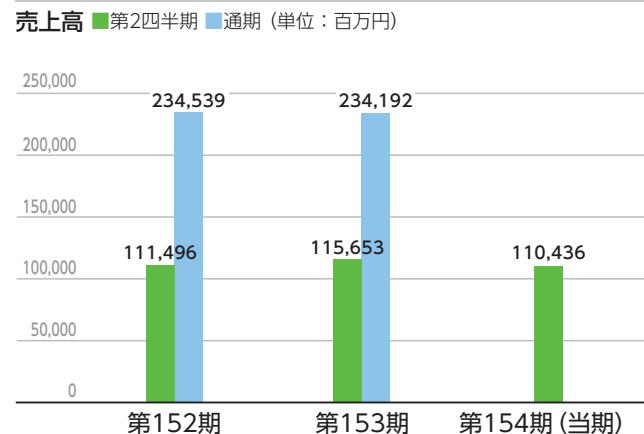
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

取締役社長 関根 福一



連結業績の推移



(注) ROA: 総資産経常利益率

第154期上半期の経済情勢

当上半期のわが国経済は、政府の経済対策等の効果を背景に緩やかな回復基調にあったものの、中国をはじめとするアジア新興国等の景気下振れ懸念や英国のEU離脱問題による世界経済の不確実性の高まり等により、先行きに不透明な状況が続きました。

セメント業界におきましては、公共投資・民間設備投資がほぼ前年同期並みで推移したものの、工事着工の遅れ、建築の工法変化、天候不順等の影響により、官公需、民需ともに減少したことから、セメント国内需要は、前年同期を4.5%下回る20,206千トンとなりました。一方、輸出は、前年同期を5.5%上回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前年同期を2.4%下回る25,513千トンとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、セメントをはじめとする各種製品の安定供給を推進するとともに、持続的発展のため、グループを挙げてコスト削減等に取り組みました。

第154期上半期の業績

以上の結果、当社グループの業績につきましては、売上高は、セメント事業等で減収となったことから、110,436百万円と前年同期に比べ5,216百万円の減収となりました。経常利益は、セメント事業における販売数量の減少等により、10,425百万円と前年同期に比べ821百万円の減益となりましたが、固定資産売却益を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8,006百万円と前年同期に比べ339百万円の増益となりました。

なお、当社は、年間連結配当性向20%以上の配当を

実施することとしておりましたが、今後も一定の収益が見込めるものと判断し、年間連結配当性向を25%程度といたしました。したがって、当期の中間配当につきましては、1株につき5.0円とさせていただきます。

第154期通期の見通し

今後のわが国経済は、引き続きアジア新興国等の景気の下振れリスクが存在するものの、政府の経済対策等を背景に、緩やかな回復に向かうことが期待されます。

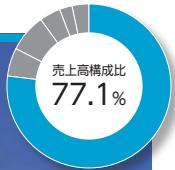
セメント業界におきましては、公共投資の増加が見込まれるものの、建築の工法変化等の影響により、官公需、民需ともにほぼ前年並みで推移することが予想されることから、内需は、ほぼ横這いで推移するものと思われまます。

当社グループは、このような情勢のもと、セメント事業におきましては、国内においては、需要の変動に対応した柔軟な生産・販売・物流体制の確立により、高品質な製品を安定的に供給するとともに、販売価格の適正化に努めてまいります。また、海外においては、成長が見込まれる地域への進出を今後も検討してまいります。

その他の事業におきましては、経営資源の重点的な配分等、事業規模の拡大および収益の向上のための諸施策を推進してまいります。

さらには、コンプライアンスの徹底を引き続き推進するとともに、リサイクル原燃料の活用等を通じ、当社グループにとって社会的使命である循環型社会構築への貢献および環境負荷の低減に、今後とも継続的に取り組んでいく所存であります。

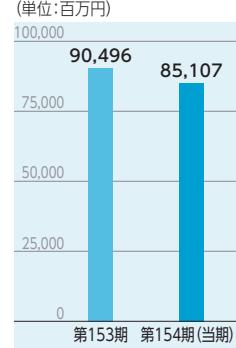
セメント事業



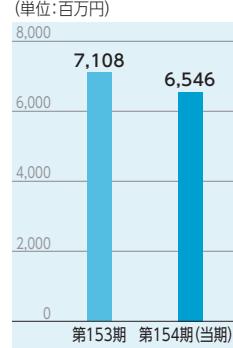
ポルトランドセメント(普通、早強、中庸熱、低熱)、高炉セメント、フライアッシュセメント、セメント系固材、生コンクリート、電力の供給、原燃料リサイクル

セメント販売数量が前年同期を下回ったことなどから、売上高は、85,107百万円と前年同期に比べ5,389百万円の減収となり、営業利益は、6,546百万円と前年同期に比べ562百万円の減益となりました。

第2四半期売上高



第2四半期営業利益



鉱産品事業



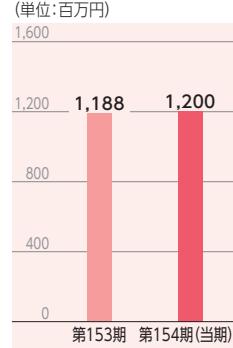
石灰石、ドロマイト、タンカル、骨材、シリカ微粉

骨材および石灰石の販売数量が前年同期を下回ったことなどから、売上高は、6,059百万円と前年同期に比べ776百万円の減収となったものの、採掘コストが改善したことなどから、営業利益は、1,200百万円と前年同期に比べ11百万円の増益となりました。

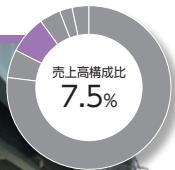
第2四半期売上高



第2四半期営業利益



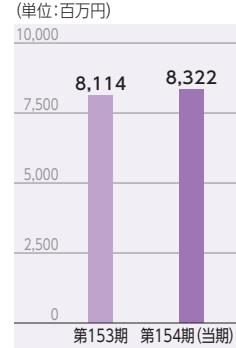
建材事業



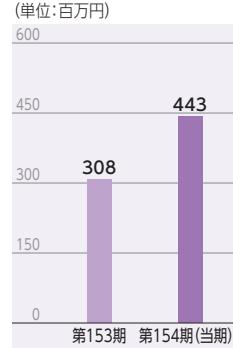
コンクリート構造物補修・補強(材料、工事)、各種混材、重金属汚染対策材、魚礁・藻場礁、電気防食工法、各種地盤改良工事、PC(製品、工事)、各種ヒューム管

コンクリート構造物補修・補強材の販売数量が増加したことなどから、売上高は、8,322百万円と前年同期に比べ208百万円の増収となり、営業利益は、443百万円と前年同期に比べ135百万円の増益となりました。

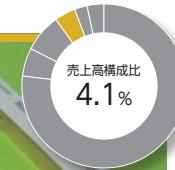
第2四半期売上高



第2四半期営業利益



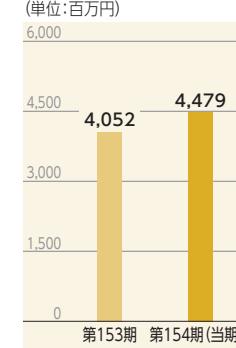
光電子事業



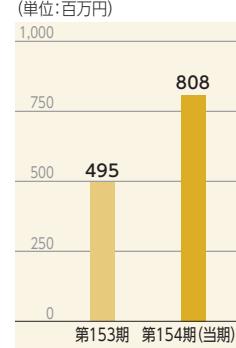
光通信部品、光計測機器、光送受信機

新伝送方式用光通信部品等の販売数量が増加したことなどから、売上高は、4,479百万円と前年同期に比べ427百万円の増収となり、営業利益は、生産コストが改善したことなどから、808百万円と前年同期に比べ312百万円の増益となりました。

第2四半期売上高



第2四半期営業利益



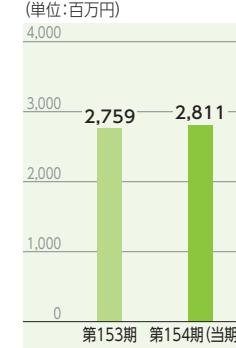
新材料事業



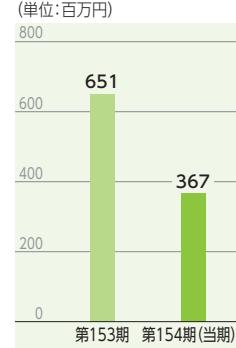
各種セラミック製品、各種ナノ粒子材料、抗菌剤、化粧品材料、各種機能性塗料、防汚塗料、熱線遮蔽塗料・フィルム

半導体製造装置向け電子材料の販売数量が増加したことから、売上高は、2,811百万円と前年同期に比べ51百万円の増収となったものの、化粧品材料の販売数量が減少したことに加え減価償却費が増加したことなどから、営業利益は、367百万円と前年同期に比べ284百万円の減益となりました。

第2四半期売上高



第2四半期営業利益



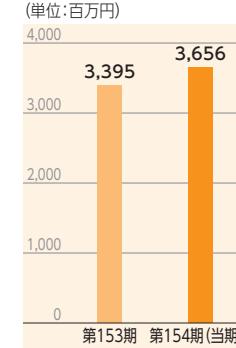
その他事業



不動産賃貸、エンジニアリング、ソフトウェア開発、二次電池正極材料

二次電池正極材料の販売数量が増加したことなどから、売上高は、3,656百万円と前年同期に比べ260百万円の増収となり、営業利益は、コスト削減等により、639百万円と前年同期に比べ331百万円の増益となりました。

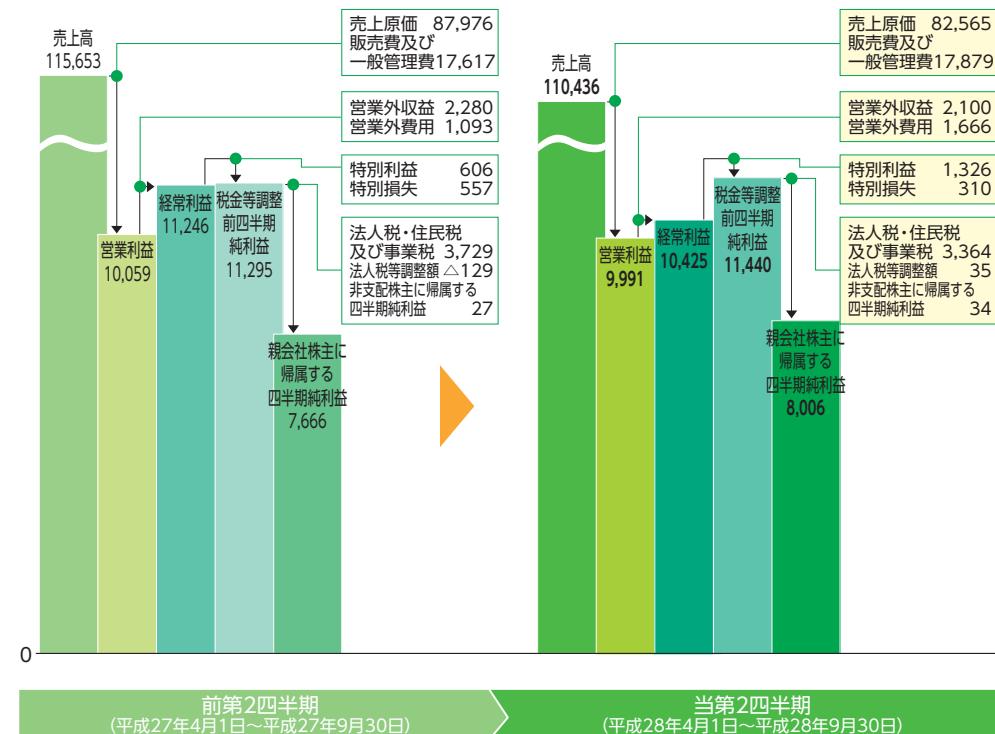
第2四半期売上高



第2四半期営業利益



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



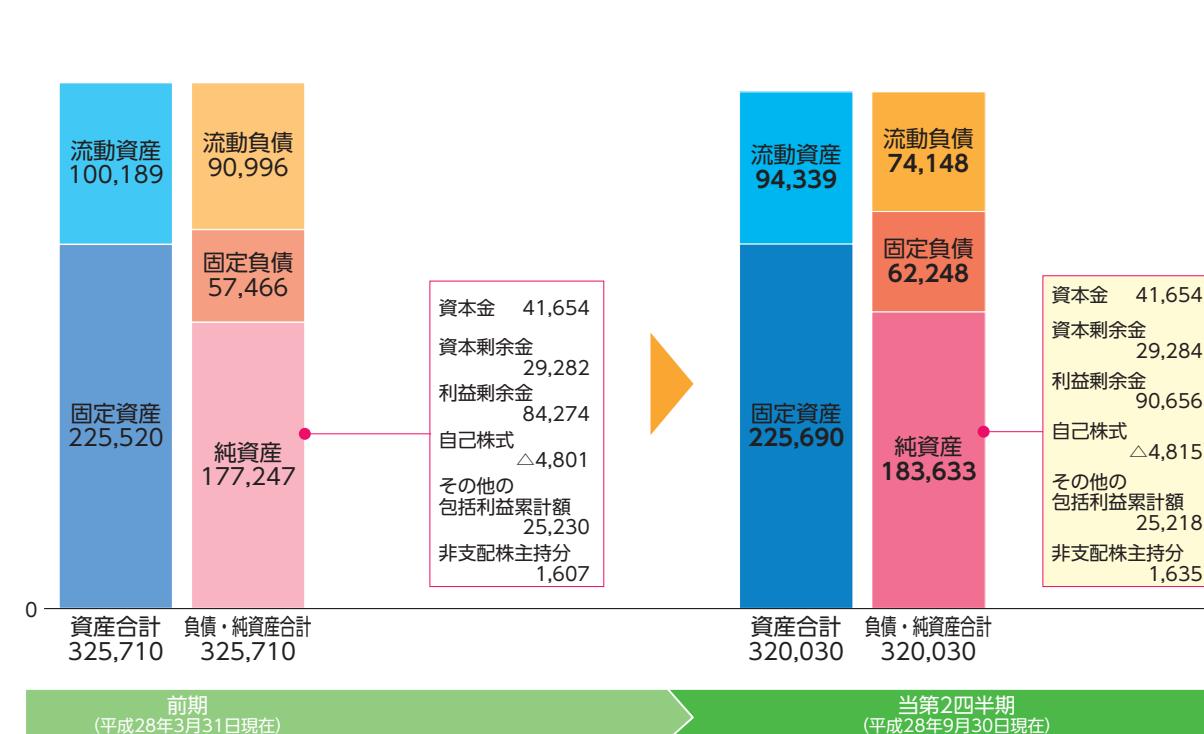
特別利益

当第2四半期の特別利益は、固定資産売却益865百万円、投資有価証券売却益460百万円です。

特別損失

当第2四半期の特別損失は、固定資産除却損292百万円等です。

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



流動資産

流動資産は、5,849百万円減少しました。これは、現金及び預金が3,924百万円、受取手形及び売掛金が1,419百万円減少したことなどによるものです。

固定資産

固定資産は、169百万円増加しました。これは、有形固定資産が829百万円増加したことなどによるものです。

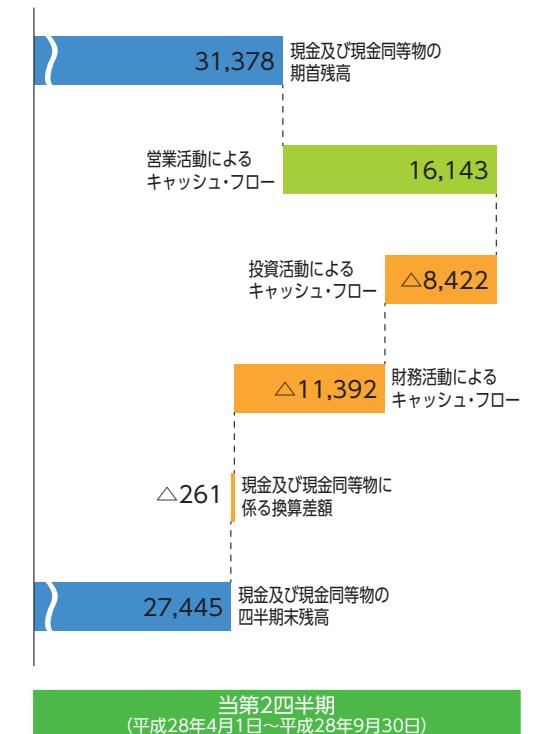
負債合計

負債は、12,066百万円減少しました。これは、社債及び借入金が9,653百万円減少したことなどによるものです。

純資産

純資産は、6,386百万円増加しました。これは、利益剰余金が6,382百万円増加したことなどによるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー (以下「CF」) は、税金等調整前四半期純利益11,440百万円、減価償却費8,192百万円等です。

投資活動によるCFは、設備投資による支出10,327百万円等です。

財務活動によるCFは、借入金の増減額、配当金支払い等です。

アクセス!

詳しい財務情報については当社IRサイト <http://www.soc.co.jp/ir/> をご覧ください。 住友大阪セメント IR 検索

オプトエレクトロニクス技術や ナノテクノロジーを通じて、豊かな社会の 維持・発展に貢献しています。

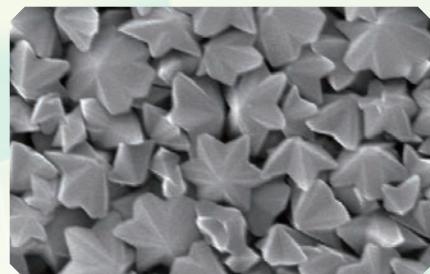
光通信機器で情報インフラを支える— 光電子事業

スマートフォン等の普及による通信容量増大に対応するための高速化・大容量化に向けた通信技術の開発が盛んに行われている中で、光通信システムを支える光通信機器の開発・製造・販売を行っています。

主力製品であるLN変調器は、音楽や動画等の情報を電気信号から光信号に変換し、光ファイバーケーブルを使用して伝送する光通信システムの中では心臓部といえるキーデバイスです。当社のLN変調器は、高品質な信号の送信を可能にするため、主に陸上幹線や海底ケーブルなどの長距離伝送用に使用されています。



LN変調器



星形チタニア

小さな粒子で新たな価値を創造する— 新材料事業

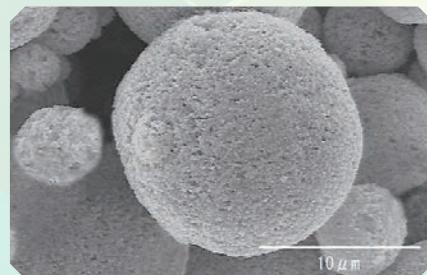
粒子を細かくすることによりユニークな性質が現れることに着目し、独自のナノ粒子製造技術を駆使した高純度ファインセラミックスや紫外線遮蔽、熱線遮蔽等の機能性材料の開発・製造・販売を行っています。

当社の機能性材料は、国内外から品質を高く評価されており、耐久性に優れたファインセラミックス製静電チャックは半導体製造装置に広く採用されています。また、他の機能性材料についても日焼け防止や肌を明るく見せる特性を持つ化粧品材料、自動車窓で用いられる熱線遮蔽フィルムなど幅広い分野で利用されています。

再生可能エネルギー普及拡大を進める— 電池材料事業

地球環境に配慮したエネルギーの効率的な活用手段として、リチウムイオン電池が重要な役割を担っている中で、当社独自のナノ粒子製造技術を応用し、リチウムイオン電池用正極材料であるリン酸鉄リチウムの開発・製造・販売を行っています。

優れた安全性と長寿命を特徴とする当社のリン酸鉄リチウムは、国内外で車載用および電力貯蔵用リチウムイオン電池に採用されています。今後も、リチウムイオン電池用正極材料の提供を通じて地球環境の保全に貢献していきます。



リン酸鉄リチウム



この頁でご紹介する高機能品の研究開発拠点については、裏表紙でご案内しています。

リチウムイオン電池用正極材料 ベトナム工場での 生産能力増強

現在、リチウムイオン電池用正極材料の需要拡大に対応すべく、ベトナム工場(製造子会社:SOC VIETNAM CO.,LTD.、所在地:ベトナム北部・ハノイ近郊)におけるリン酸鉄リチウムの生産設備について能力増強の工事を実施しております。

当社のリン酸鉄リチウムは、過充電や高温に対しての高い安全性と長寿命に加え、品質安定性が顧客より高く評価されており、車載用および電力貯蔵用リチウムイオン電池の用途でのさらなる需要増加が見込まれていることから、ベトナム工場の生産能力を年間1,000 tから2,000 tに増強することで需要増加に対応することとしました。

現在建設中の新設ラインの稼働は、平成29年2月を予定しており、リチウムイオン電池用正極材料の顧客への安定供給に取り組んでいきます。



SOC VIETNAM CO.,LTD.の外観

TOPICS

3D NAND向け 半導体製造装置用の 新規静電チャックの開発

近年、電子データを保管する記録媒体がハードディスクドライブからより大容量で小型のソリッドステートドライブ(SSD)に置き換えられている中で、SSDに使用される半導体メモリーが従来の平面構造から保存できる情報が多量な三次元多層構造(3D NAND)へ移行しています。

当社は、これに対応できる半導体製造装置用の新規部材(静電チャック)を開発しました。3D NANDを製造するための静電チャックには、高耐久性、高耐電圧等の性能が求められますが、当社独自のファインセラミックス材料特性と設計技術により、これを実現しました。

SSDの市場成長率は、平成30年まで平均で年間約30%と見込まれており、新たに開発した静電チャックの需要が増加することが予想されることから、当社としても、独自の技術をより発展させるべく研究開発を進め、今後も社会のニーズに対応すべく取り組んでいきます。



静電チャック

会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号	住友大阪セメント株式会社 Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.
設立年月日	明治40年11月29日
資本金	416億円
従業員数	1,187名
主な事業所	
本社	〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
支店	札幌支店 東北支店 東京支店 北陸支店 名古屋支店 大阪支店 四国支店 広島支店

	福岡支店
セメント工場	栃木工場 岐阜工場 赤穂工場 高知工場 八戸セメント株式会社
石灰石事業所	山口事業所 小倉事業所
研究所	新規技術研究所 セメント・コンクリート研究所
海外拠点	SOC AMERICA INC. (米国ニュージャージー州) 香港事務所 (中国香港特別行政区) 住龍納米技術材料 (深圳) 有限公司 (中国広東省) 東莞住創光電子技術有限公司 (中国広東省) SOC VIETNAM CO., LTD. (ベトナムフニンエン省)

役員および執行役員 (平成28年10月1日現在)

※ 取締役社長	関根 福一	常務執行役員	藤原 康生
※ 取締役執行役員副社長	菅 雄志	執行役員	榊原 弘幸
取締役常務執行役員	向井 克治	執行役員	小木 亮二
取締役常務執行役員	吉富 功	執行役員	野々村 智範
取締役常務執行役員	山本 繁実	執行役員	諸橋 央典
取締役常務執行役員	大西 利彦	執行役員	今井 俊雄
取締役	齊田 國太郎	執行役員	大嶋 信太郎
取締役	渡邊 明	執行役員	小西 幹郎
監査役 (常勤)	関根 章雄	執行役員	青木 秀起
監査役 (常勤)	伊藤 要	執行役員	内村 典文
監査役	友澤 史紀	執行役員	下モ 真史
監査役	保坂 庄司	執行役員	島田 徹
監査役	鈴木 和男	執行役員	土井 良治

(注) 1. ※印表示は、代表取締役を示します。
2. 取締役のうち齊田國太郎および渡邊 明の両氏は、社外取締役であります。
3. 監査役のうち友澤史紀、保坂庄司および鈴木和男の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 1,470,130,000株
発行済株式総数 417,432,175株 (うち自己株式11,512,767株)
株主数 28,644名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,509	9.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	26,822	6.6
住友生命保険相互会社	8,520	2.1
野村信託銀行株式会社(投信口)	8,440	2.1
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	8,279	2.0
住友商事株式会社	7,185	1.8
株式会社三井住友銀行	6,415	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,879	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・住友重機械工業株式会社退職給付信託口)	5,128	1.3
STATE STREET BANK AND TRUST OMNIBUS ACCOUNT OM25	4,939	1.2

(注) 1. 当社は、自己株式11,512,767株を保有しておりますが、上記の大株主から除外しております。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を除いた数に基づき、算出しております。

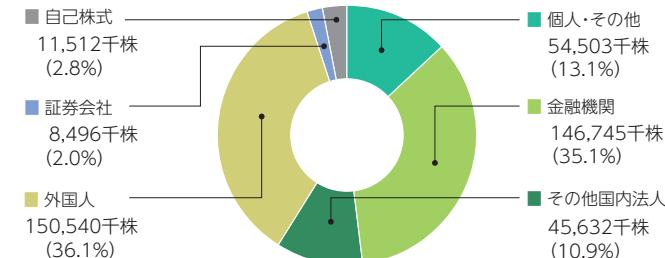
株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 電子公告
(公告掲載アドレス
<http://www.soc.co.jp/frame08.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

所有者別分布状況



IRカレンダー

平成29年3月期	
平成29年	2月 第3四半期決算発表
	5月 決算発表
	6月 定時株主総会開催

(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120 (782) 031
(インターネットホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場金融商品取引所	東京証券取引所
単元株式数	1,000株

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

船橋発 社会を豊かにする先端技術、新規技術研究所

近年、「ふなっしー」の活躍や人気テーマパーク「ふなばしアンデルセン公園」で注目される千葉県船橋市に「生コンクリート研究所(住友セメント)」を設置したのは昭和45年のことです。以来、時代の変遷とともに研究対象の分野をセメント・コンクリートから非セメントに広げ、今では当社の高機能品部門を支える研究開発拠点として重要な役割を担ってきたのが「新規技術研究所」です。

「フォトンクス技術」と「ナノテクノロジー」をコアテクノロジーとして、光電子、新材料、電池材料の各分野で積極的な研究開発を推進しています。ここで創出される新製品は、当社の多様な事業活動を支えるとともに、通信、半導体やヘルスケア製品等の部材や原材料として使用されることを通じて、豊かな社会の実現に貢献しています。



空から見た当社船橋地区

表紙の写真 | 新規技術研究所の外観

周辺の観光スポット

三番瀬とふなばし三番瀬海浜公園



船橋市提供

東京湾最奥部に広がる「三番瀬」は、約1,800ヘクタールの干潟と浅海域(浅い海)です。「ふなばし三番瀬海浜公園」には、潮干狩り場やバーベキュー場、テニスコートなどが併設され、休日

は多くの行楽客で賑わいます。また、渡り鳥の中継地にもなっており、さまざまな野鳥の様子が観察できることでも有名です。

ふなばしアンデルセン公園



船橋市提供

船橋市とデンマーク・オーセンセ市との姉妹都市提携から生まれた公立公園で、世界的な旅行サイト「トリップアドバイザー」の「2015年日本の人気テーマパークランキング」では第3位を獲得しています。自然の中で自由に遊べる「ワンパク王国」、デンマーク式風車のある美しい田園風景を愛する「メルヘンの丘」、アンデルセン童話をイメージした遊具で遊べる「花の城」など、アンデルセンの世界を満喫できる5つのゾーンで構成されており、子供も大人も楽しめるスポットです。

 住友大阪セメント株式会社

〒102-8465 東京都千代田区六番町 6番地28

Tel. 03(5211)4500(代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

